

セーノ!
まあ〜るく
おさめちやる

おしえてセーノ!

vol.
24

体やお金、老後のことなど、日々の暮らしの中で悩みごとは尽きないもの…。

そこで当コーナーは、その道の専門家や有識者にお話しを伺い、

皆さんが抱えているモヤモヤした悩みや疑問をきれいスッキリと解決してくれますよ!

健康

Q.

友人が自由診療で歯の治療を受けたと聞きました。自由診療とはどのような治療でしょうか?

A.

自由診療とは、公的医療保険制度を適用しない治療のことを指します。歯科において治療を選ばれる方は、治療方法の豊かさや、審美的評価の高さなど、患者さんの希望にそう形で選択肢の中から歯科医師と相談したうえで自ら選ぶことができます。自由診療の主な治療法について、それぞれ説明します。

○虫歯治療

虫歯は「冷たい物がしみる」、「歯がズキズキ痛む」といった、最も身近な口の病気です。初期の虫歯を治療する場合、虫歯部分を削り、「ダイレクトボンディング」という治療を行うことで、歯を削る量を最小限にし、天然歯のような色調と形態を再現することが可能です。また、治療時に「ラバーダム」というゴム製のシートを用いて治療を行うことで、唾液中の細菌からの感染予防をしたり、歯と樹脂の接着力が向上し二次的な虫歯のリスクを下げるすることができます。

○インプラント治療

近年、歯を失った場合の治療法として、インプラントを選択される患者さんが増えております。骨が痩せてインプラントが難しい方には骨を作る「GBR」、入れ歯の安定が難しい方には入れ歯を固定する「オーバーデンチャー」などの治療で、機能的にも審美的にも患者さんにとってベストな状態を目指します。

○咬合再構成

咬合再構成とは、多数の歯が



治療で「ラバーダム」を使用した際の様子。

なくなってしまう、前歯から奥歯まで全体的に噛み合わせが壊れてしまった状態を、機能的かつ審美的な状態に治す治療法です。虫歯、歯周病、歯並びのみの治療だけでなく、顎関節や咬合力による口周りの筋肉、首・肩などの筋肉への影響も含めて診断を行います。

これ以外にも、笑った際に上顎の歯茎が大きく見えてしまう「ガミースマイル」や、歯と歯に隙間がある「すきつ歯」の人の治療。口を開けた際に差し歯や銀歯が見え天然歯との違いが気になる方へ向けた「審美治療」など、状況によってさまざまな治療が可能です。自由診療は費用はかかりませんが、自分の天然の歯を生涯つかうために投資する価値は十分にあると思います。歯は何度も治療を繰り返すとその度に削らなれないといけないので、できるだけ何度も再治療にならないように、早い段階で精密な治療を受けることをおすすめします。

おしえてくれた人



リッツ歯科・矯正歯科 大分駅前 院長 毛利 收考さん

福岡歯科大学を卒業後、福岡歯科大学口腔インプラント科に入局。医療法人徳治会・吉永歯科医院での勤務を経て、平成26年(2014年)から毛利歯科医院副院長。令和5年(2023年)リッツ歯科・矯正歯科大分駅前を開設。

〒 大分市東大道1-8-15 カサベルド駅前1F
☎ 097-545-1500

